

強い「つながり」を目指す 新たな国際協力の形

金城学院大学

金城学院大学(名古屋)では、国際情報学部(名古屋)では、国際情報学部の佐藤奈穂准教授のゼミナール生が運営するアクセサリーブランド「DIAGIRL」親愛なる、すべての女の「私たち」が新しいメンバー体制となり、令和5年度の活動を開始した。

DIAGIRLは、「カワイイ」で私がかわる、世界をかえる」をコンセプトに、平成27年より同大の学生がカンボジアの女性たちと共に活動しているアクセサリー

ブランドだ。学生がデザインしたアクセサリーを、カンボジア女性たちと協力して製作し、日本で販売した収益を現地の女性たちに還元。従来の国際協力のような「先進国」が「途上国」

に一方的な支援を施すのではなく、お互いに成長し合うこと、そして「誰かの役に立てる幸せの連鎖」を女性たちがつないでいくことを目指して活動をしている。令和元年には全国各地で活動する学生団体「サークル」部活動を表彰する「第5回学生団体総選挙」において、1178もの参加団体の中から「総合グラ

ンプリ」を受賞した。今年度は新たにごみの削減とリサイクル促進への取り組みとして、株式会社大原ガラスリサイクル(本社・同)やNijiLamp(本社愛知・瀬戸市)の協力の

もと、ガラスレットやステンドグラスを製作する際に生まれる切れ端を集め、

リサイクル素材を用いてSDGsの取り組みにも貢献



際に滞在や実習を経験すると、その実情に耐えられず帰国する人も少なくないのが現状だ。

そこで同ブランドでは、技能実習生が抱える多くの問題の中でも、大学生だからその力になれる問題に焦点を当て、日本での暮らしが少しでも快適に、そして楽しいものになるような活動を展開。「日本の大学生が技能実習生の日本の家族として相談相手になり、孤立化を防ぐ」「日本人とカンボジア人の情報交換の場づくり」「技能実習生に日本での滞在を少しでも楽しんでもらう」「技能実習生が抱える問題を事前に把握し、各機関へつなげる」

また、同ブランドでは愛知県在住のカンボジア人技能実習生との交流を図る活動「DIAFamilyプロジェクト」を実施している。愛知県には技能実習生が多く在住している反面、かねて日本語学校や渡航手続きの際の多額の借金や不当搾取の被害、外国人差別などの人権侵害等、さまざまな社会問題を抱えているとされる。技能実習生の多くは大學生と同世代の若者で、日本に憧れを抱いていても実

DIAGIRLの活動は、「学生ならではの」身近な立場でこれまでの国際協力の形に新しい風を吹かせている。彼女たちの今後の取り組みから目が離せない。



成長し合える国際協力で幸せをつなぐDIAGIRL